

株式会社JRC

(東証グロース:6224)

2026年2月期 第1四半期 決算説明資料

2025年7月

<ご注意>

本資料中の業績予想ならびに将来予想は、現在入手可能な情報に基づき、当社の判断により一定の前提の下に作成されており、リスクや不確定要素等の要因が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、これら会社の将来情報と実際の業績とは大きく乖離する可能性があります。



会社情報

会社名	株式会社JRC (英文社名 JRC Co., Ltd.)
本社所在地	大阪本社 大阪市西区阿波座2-1-1 CAMCO西本町ビル5F 東京本社 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー24F
代表者	代表取締役社長 浜口 稔
創業	1961年4月(浜口商店 創業)
設立	1991年3月(株式会社JRC)
資本金	131,415千円 (2024年3月13日現在)
従業員	459名(連結) (2025年2月末現在)
事業内容	コンベヤ部品の設計・製造・販売及びコンベヤ設備の運用改善・メンテナンス 環境プラントのコンベヤを中心としたマテハン機器の設計・製造・据付・メンテナンス ロボットを活用した自動設備などの設計・製造・販売
グループ会社	JRC C&M株式会社 向井化工機株式会社 (JRC C&M子会社) 株式会社高橋汽罐工業 吉艾希商事(瀋陽)貿易有限公司 JRC IFM Co., Ltd. (持分法適用関連会社)

企業スローガン

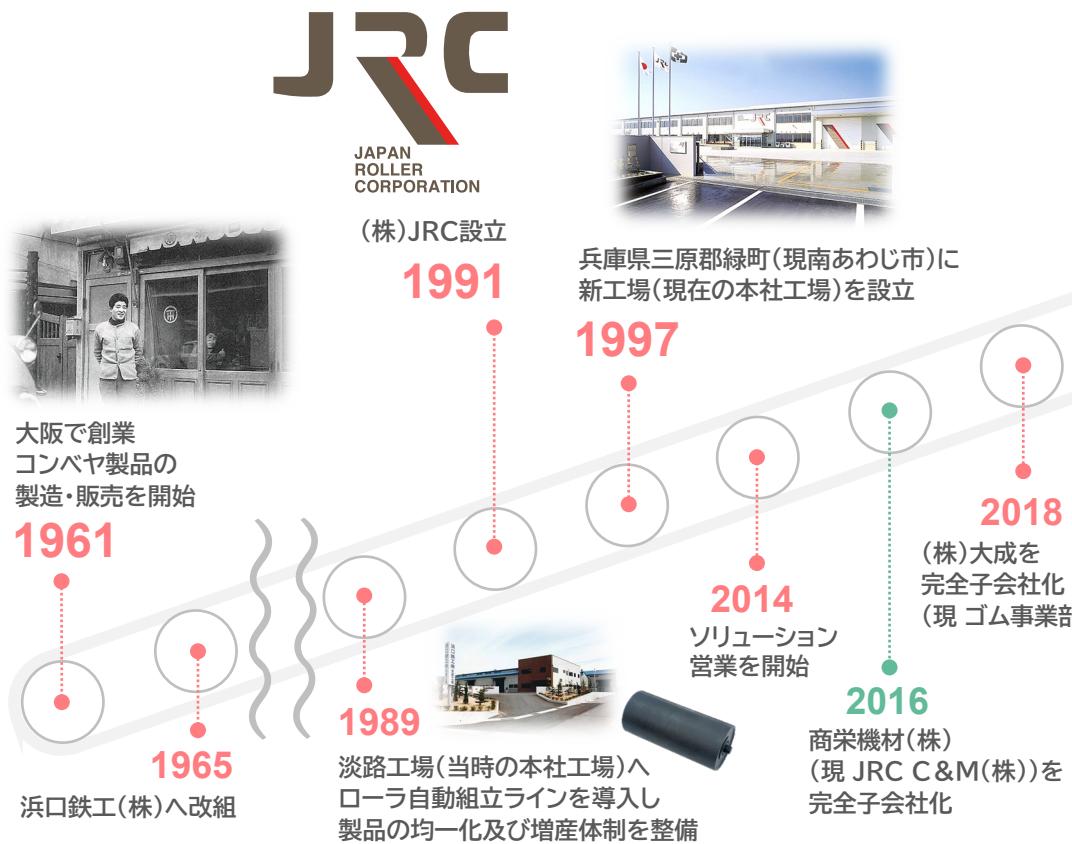
発見を、発展へ
Discovery to Development

すべては現場を基本としたリアルから見出し、
まだお客様にない視点での**課題の「発見」**から、
不をなくすソリューションを通じて
「発展」(JRC・お客様・社会)へと繋げていく意志を
『発見を、発展へ』という
企業スローガンとして表明しています。

沿革

顧客課題の発見、ソリューション提供を通じて事業拡大

近年は積極的なM&Aによる事業強化も実現



シンテゴンテクノロジー(株)より
パラレルリンクロボットSI事業を
譲受

2021

2024

東陽工業(株)を
JRC C&M(株)に
吸収合併
(現 JRC C&M
福島工場)

2023

東京証券取引所へ
新規上場

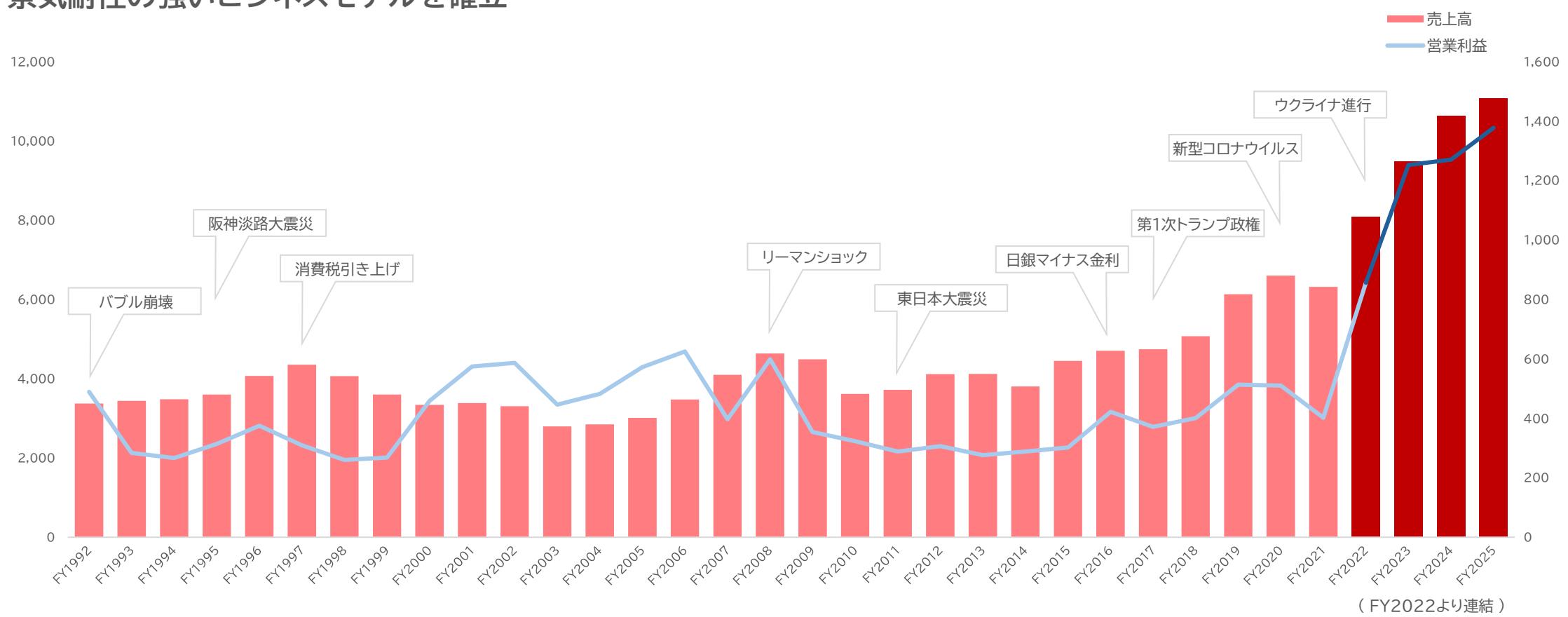
ALFIS

ロボットSI事業ブランド「ALFIS*」の展開を開始
(当社工場における作業のロボット化も推進)
※Automation for Laboratory
and Factory Integrated System

業績推移

1991年の設立以降、時代が直面する課題を解決し、
 社会発展の基盤づくりに貢献し続けることにより、
 景気耐性の強いビジネスモデルを確立

(単位:百万円)



2026年2月期 第1四半期 決算説明のポイント

決算説明のポイント

第1四半期実績

- ・前期M&Aによる業績寄与のインパクトにより、売上利益ともに大きく成長
- ・売上総利益率が41.3%と大きく改善し、営業利益率が20.6%まで高まる

コンベヤ事業

- ・堅調なソリューション、旺盛なリプレイス需要に加え、メンテナンスが好調に推移
- ・高橋汽罐工業が計画比で大幅増益となり、セグメント利益率が31.9%まで拡大

環境プラント事業

- ・下期偏重の計画により、前年同期比ではセグメント利益は弱含むものの、向井化工機が好調に推移し、計画比では売上利益ともに上回る

ロボットSI事業

- ・期ズレの影響を受けるものの、前年同期比で売上利益ともに大きく上回る
- ・過年度2期の赤字スタートから一転、セグメント利益率11.9%まで成長

2026年2月期 連結業績予想

- ・第1四半期実績を踏まえ、上期業績予想を修正(通期予想は変更なし)
- ・当社配当方針に基づき、中間配当を1株当たり13円から14円に修正(年間28円予定)

**2026年2月期
第1四半期
決算概要**

第1四半期連結業績ハイライト

売上高

3,394
百万円

前年同期比(増減)

+44.1%
(+1,039百万円)

事業計画

3,024
百万円

達成率

112.3%

営業利益

700
百万円

前年同期比(増減)

+175.4%
(+446百万円)

事業計画

220
百万円

達成率

317.7%

M&A費用を除く営業利益

714
百万円
+146.1%
(+424百万円)
324.3%

- ・前期M&Aによる業績寄与が計画以上で推移し、前年同期比、計画比ともに大きく伸長
- ・前期同様、当期も新たなM&Aの継続検討・準備に伴い、関連費用を一部計上

連結売上高・営業利益の推移(四半期)

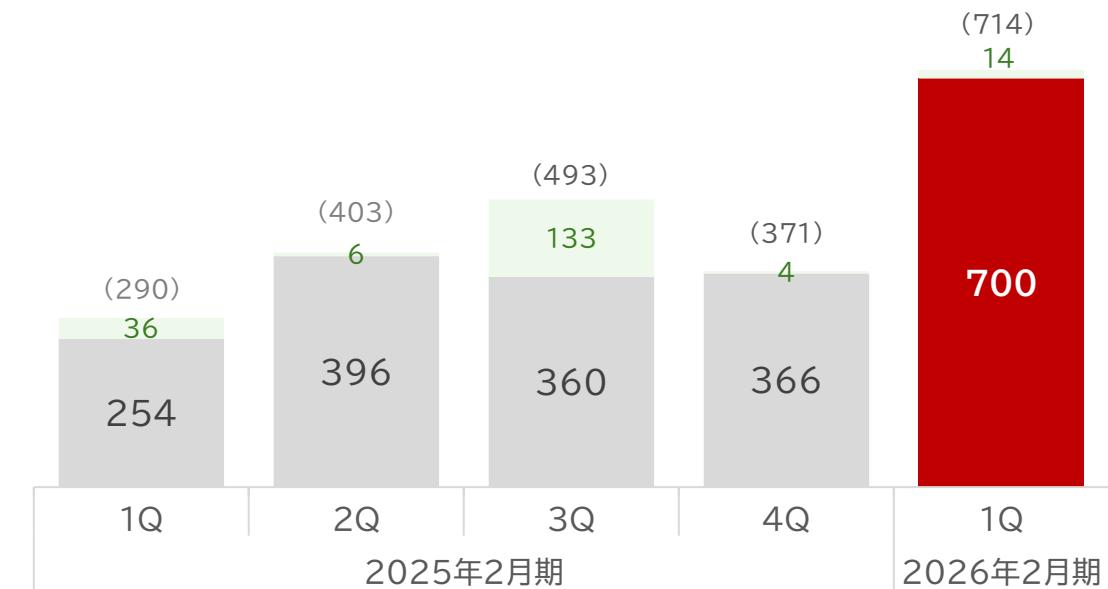
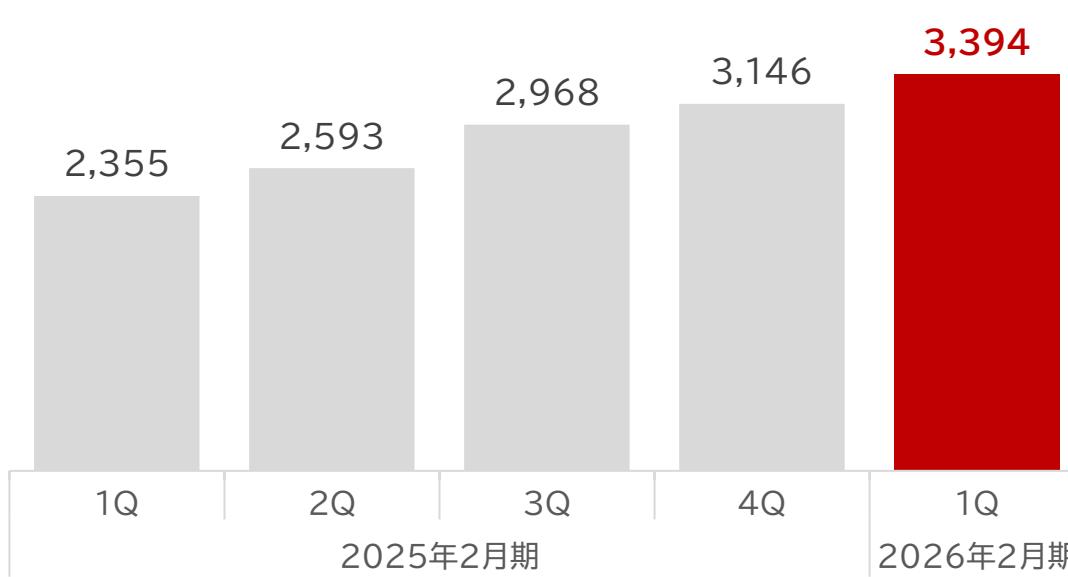
売上高

(単位:百万円)

営業利益

(単位:百万円)

(■:M&A費用)



売上原価の低減と高橋汽罐工業、向井化工機の好調な業績により、売上総利益率が41.3%(前年同期比+6.1pt)と大きく改善し、営業利益率が20.6%まで高まる

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2025年2月期					2026年2月期	前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	
売上高	2,355	2,593	2,968	3,146	11,064	3,394	+44.1%
売上総利益	829	957	1,126	1,085	3,999	1,401	+69.0%
売上総利益率	35.2%	36.9%	38.0%	34.5%	36.1%	41.3%	+6.1Pt
営業利益	254	396	360	366	1,378	700	+175.4%
営業利益率	10.8%	15.3%	12.1%	11.7%	12.5%	20.6%	+9.8Pt
経常利益	258	407	365	375	1,407	673	+160.2%
当期純利益	245	278	221	332	1,078	516	+110.6%
EBITDA	311	457	424	455	1,647	802	157.6%

コンベヤ事業 第1四半期業績ハイライト

売上高

2,565
百万円

前年同期比(増減)

+31.5%
(+614百万円)

事業計画

2,130
百万円

達成率

120.4%

セグメント利益

818
百万円

前年同期比(増減)

+ 96.3%
(+401百万円)

事業計画

406
百万円

達成率

201.3%

 M&A費用を除く
 セグメント利益

—

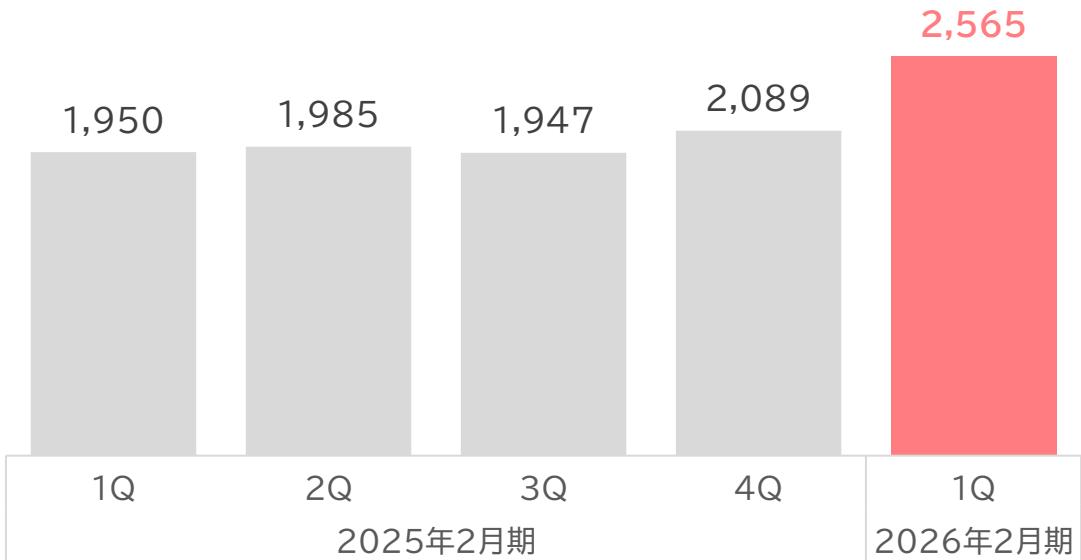
- ・堅調なコンベヤ部品に加え、高橋汽罐工業を中心としたメンテナンスが好調に推移
- ・トータルソリューション拡大のためのM&Aにも着手

※ 経営管理方法の変更に伴う影響を反映しております

コンベヤ事業 売上高・セグメント利益の推移(四半期)

売上高

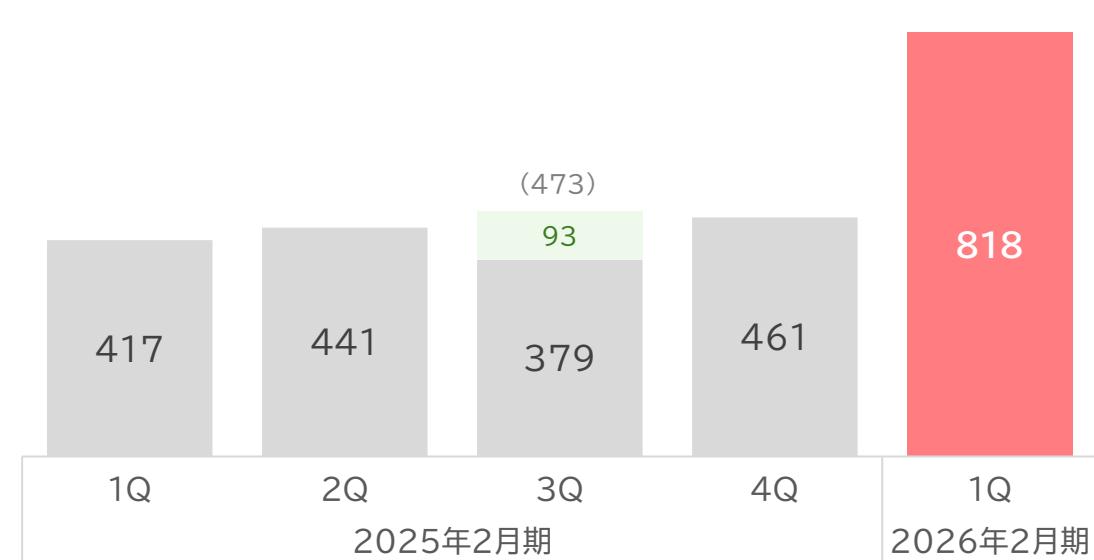
(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)

(■:M&A費用)

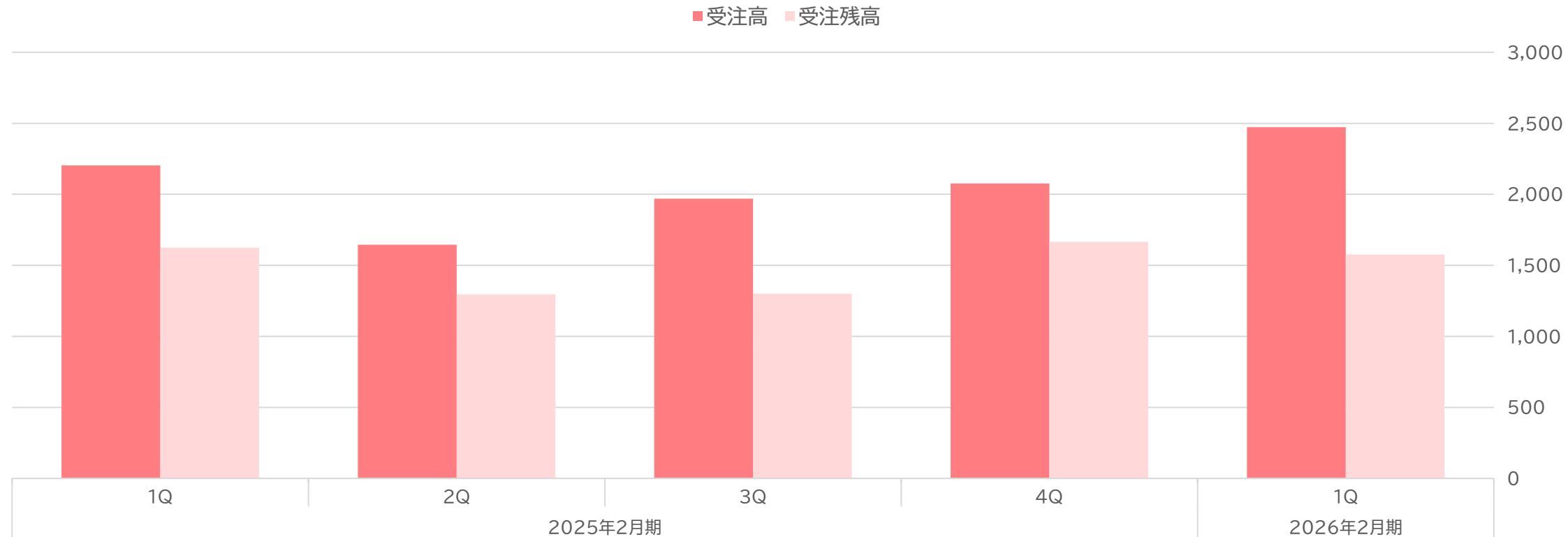


- ・ソリューション案件・リプレイス案件ともに前年同期比、計画比とともに伸長
- ・高橋汽罐工業が計画比で大幅増益となり、セグメント利益率が31.9%まで拡大

※ 経営管理方法の変更に伴う影響を反映しております

コンベヤ事業 受注状況の推移

(単位:百万円)



コンベヤ部品の安定受注に加え、高橋汽罐工業が高水準の受注を獲得し、
受注高が概ね25億円規模にまで拡大

環境プラント事業 第1四半期業績ハイライト

売上高

前年同期比(増減)

494
百万円**+22.0%**
(+88百万円)

事業計画

444
百万円

達成率

111.2%

セグメント利益

前年同期比(増減)

73
百万円**△25.9%**
(△25百万円)

事業計画

7
百万円

達成率

934.8%M&A費用を
除く営業利益

—

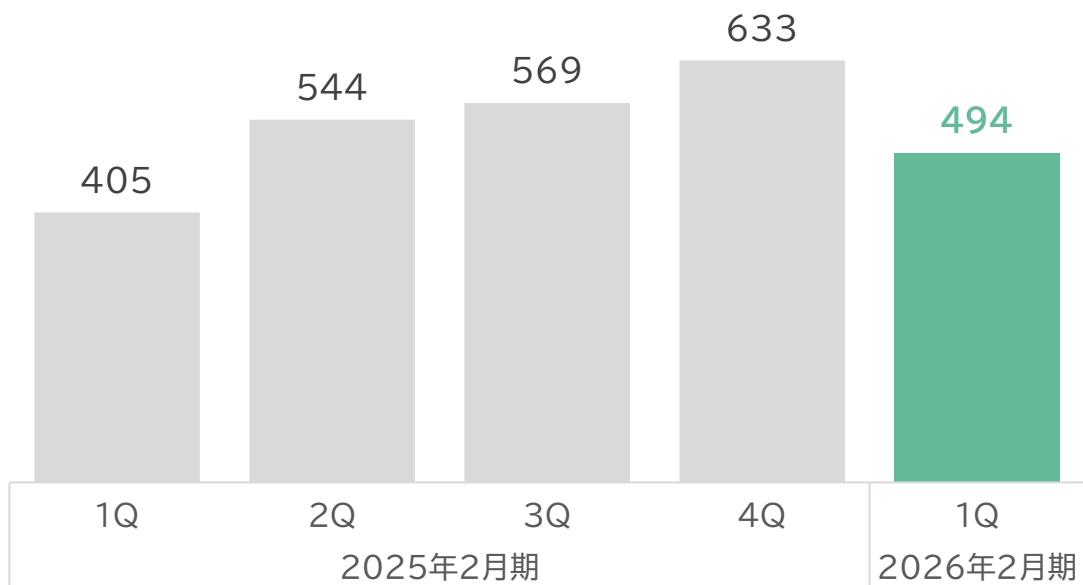
エンドユーザーの予算確定時期や受注時期などの特性を踏まえ、下期偏重で計画するものの、向井化工機が好調に推移し、セグメント利益の達成率が934.8%まで高まる

※ 経営管理方法の変更に伴う影響を反映しております

環境プラント事業 売上高・セグメント利益の推移(四半期)

売上高

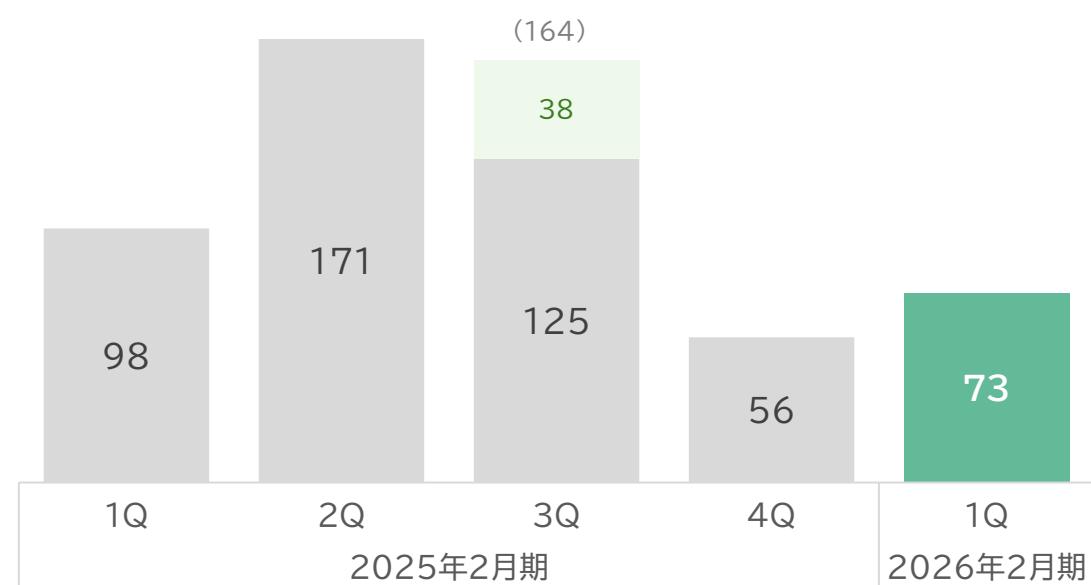
(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)

(■:M&A費用)

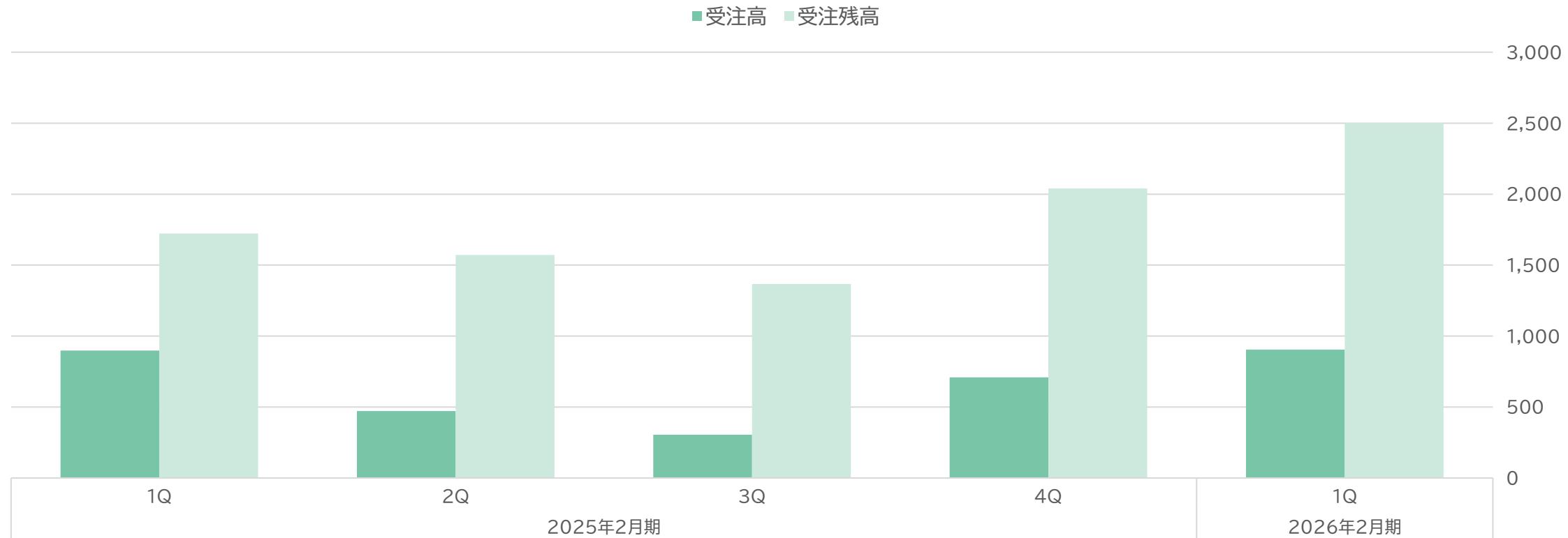


- ・ JRC C&Mは、売上高は計画通り進捗、営業利益は売上総利益率改善により計画を上回る
- ・ 向井化工機は、売上高・営業利益ともに計画を大きく上回る

※ 経営管理方法の変更に伴う影響を反映しております

環境プラント事業 受注状況の推移

(単位:百万円)



2027年2月期の売上計上予定分を含め、受注残高が25億円規模にまで積み上がる

ロボットSI事業 第1四半期業績ハイライト

売上高

前年同期比(増減)

366 百万円 **+1,004.1%** (+333百万円)

事業計画

達成率

463 百万円 **79.2%**

セグメント利益

前年同期比(増減)

43 百万円 **+85** 百万円 (前年同期は△41百万円)

事業計画

達成率

31 百万円 **140.5%**

M&A費用を
除く営業利益

—

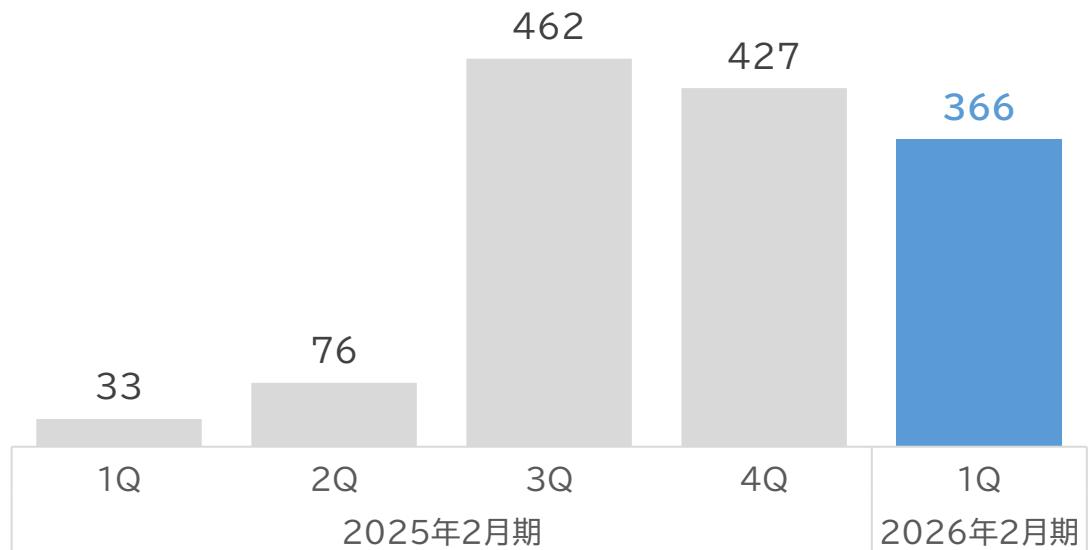
食品業界向け案件の期ズレの影響により、売上高は計画には届かずも、
前年同期比では売上高・セグメント利益ともに大きく上回る

※ 経営管理方法の変更に伴う影響を反映しております

ロボットSI事業 売上高・セグメント利益の推移(四半期)

売上高

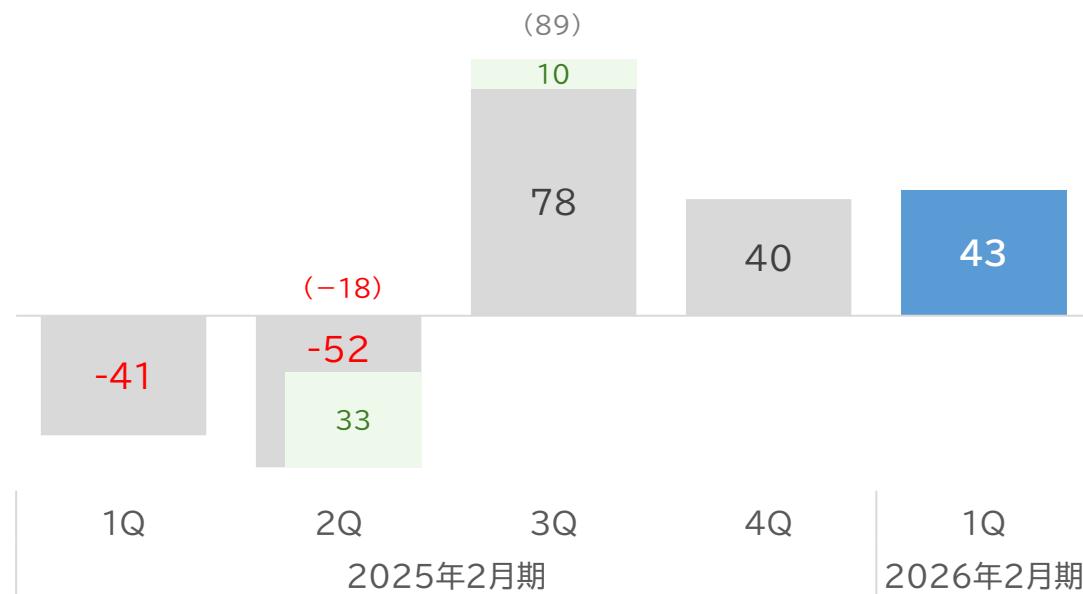
(単位:百万円)



セグメント利益(損失)

(単位:百万円)

(■:M&A費用)

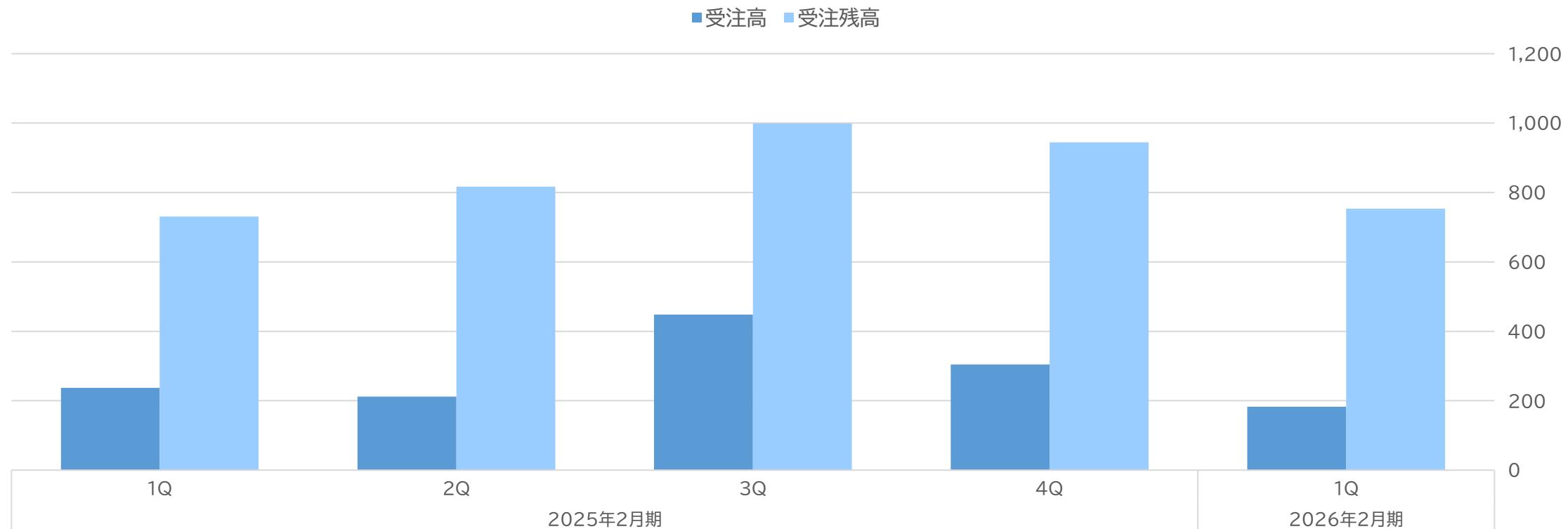


- メンテナンスや更新案件などの構成比が高まるとともに、コスト削減効果が加わり収益性が改善
- 過年度2期の赤字スタートから一転し、セグメント利益率が11.9%と好調に推移

※ 経営管理方法の変更に伴う影響を反映しております

ロボットSI事業 受注状況の推移

(単位:百万円)



複合ライン提案による大型案件増加の影響により、受注の一部に期ズレが生じる

セグメント業績

(単位:百万円)

	2025年2月期					2026年2月期	前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q		
売 上 高	2,355	2,593	2,968	3,146	11,064	3,394	+44.1%	
	コンベヤ事業	1,950	1,985	1,947	2,089	7,972	2,565	+31.5%
	環境プラント事業	405	544	569	633	2,152	494	+22.0%
	ロボットSI事業	33	76	462	427	999	366	+1004.1%
	調整額	△32	△12	△10	△4	△60	△31	+1百万円
営 業 利 益	254	369	360	366	1,378	700	+175.4%	
	(率)	10.8%	15.3%	12.1%	11.7%	12.5%	20.6%	+9.8Pt
	コンベヤ事業	417	441	379	461	1,699	818	+96.3%
	(率)	21.4%	22.2%	19.5%	22.1%	21.3%	31.9%	+10.5Pt
	環境プラント事業	98	171	125	56	451	73	△25.9%
ロボットSI事業	(率)	24.3%	31.5%	22.1%	8.9%	21.0%	14.8%	△9.5Pt
	△41	△52	78	40	25	43	+85百万円	
	(率)	—	—	17.0%	9.6%	2.6%	11.9%	—
	調整額	△219	△163	△223	△192	△799	△235	△15百万円

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産	2025年2月末	2025年5月末	増減額	備考
流動資産	7,455	8,443	+987	主な要因: 現金及び預金、完成工事未収入金の増加
固定資産	5,558	5,073	△485	
有形固定資産	3,547	3,559	+12	
無形固定資産	708	685	△23	うち、のれん588百万円
投資その他資産	1,302	828	△474	主な要因: 保険積立金の一部解約
資産合計	13,014	13,516	+502	
負債				
流動負債	5,657	5,982	+324	主な要因: 短期借入金の増加
固定負債	2,742	2,528	△213	主な要因: 長期借入金の返済
負債合計	8,400	8,510	+110	
純資産				
純資産合計	4,614	5,006	+392	主な要因: 利益剰余金の増加、配当、SO行使による自己株式処分
自己資本比率	35.4%	37.0%	+1.6pt	

KPI計画及び進捗

(単位:百万円)

		2025年2月期実績					2026年2月期	計画	進捗率
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q		
全 社	売 上 高	2,355	2,593	2,968	3,146	11,064	3,394	13,663	24.8%
	営 業 利 益	254	396	360	366	1,378	700	1,728	40.5%
	営 業 利 益 率	10.8%	15.3%	12.1%	11.7%	12.5%	20.6%	12.7%	—
	R O E	—	—	—	—	23.4%	—	22.8%	—
コンベヤ事業	ソリューション 売 上 高	456	326	350	368	1,503	479	1,691	28.4%
	ソリューション 売 上 高 比率※	24.0%	16.9%	18.4%	20.6%	20.0%	27.4%	22.6%	—
環境プラント事業	受 注 高	897	471	305	709	2,384	893	3,100	28.8%
	セグメント利益	96	171	125	57	451	73	452	16.1%
ロボットSI事業	受 注 高	237	212	448	304	987	182	1,600	11.4%
	セグメント利益	△41	△52	78	40	25	43	73	58.9%

※ ソリューション売上高比率=国内ソリューション売上高÷国内売上高

2026年2月期 連結業績予想

2026年2月期連結業績予想

(単位:百万円)

	2025年2月期		修正前上期予想 (4月14日公表)	2026年2月期			通期予想 (変更なし)
	上期実績	通期実績		修正後上期予想	増減額	増減率	
売 上 高	4,949	11,064	6,336	6,336	0	0.0%	13,663
営 業 利 益	651	1,378	617	917	+300	+48.6%	1,728
営業利益率	13.2%	12.5%	9.7%	14.5%	—	+4.8pt	12.7%
経 常 利 益	665	1,407	602	902	+300	+49.8%	1,713
当期純利益	523	1,078	365	571	+205	+56.2%	1,147

高橋汽罐工業の好調な業績により、2025年4月14日公表の上期連結業績予想を上回る見込みとなったことから、上期予想を修正（現時点では通期予想の変更なし）

2026年2月期セグメント別業績予想

(単位:百万円)

	2024年2月期 上期実績	2025年2月期 上期実績	2026年2月期			前年同期比	
			修正前 上期予想	修正後 上期予想	増減額	増減額	増減率
売 上 高	4,390	4,949	6,336	6,336	0	+1,387	+28.0%
コンベヤ事業	3,427	3,935	4,572	4,572	0	+636	+16.2%
環境プラント事業	783	949	1,043	1,043	0	+94	+9.9%
ロボットSI事業	196	109	748	748	0	+639	+584.7%
調整額	△17	△45	△49	△49	0	△4	—
営 業 利 益	497	651	617	917	+300	+266	+40.9%
コンベヤ事業	742	858	960	1,260	+300	+401	+46.8%
環境プラント事業	126	269	111	111	0	△158	△58.8%
ロボットSI事業	△51	△93	19	19	0	+113	—
調整額	△320	△383	△473	△473	0	△89	—

基本方針・配当予想

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定した配当を行うことを基本方針とし、連結配当性向30%程度を目安に配当の実施を目指しております。

このたび、第1四半期連結累計期間の業績及び第2四半期連結累計期間の業績予想の修正を受けまして、1株当たり中間配当金を前回予想から1円増額の14円とすることいたしました。これにより、当期の1株当たり年間配当額は前期から2円増額の28円となる予定です。

1株当たり配当金				
	中間	期末	年間	配当性向
前回予想	13円	14円	27円	29.3%
今回予想	14円	14円	28円	30.8%
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	13円	13円	26円	29.6%